



かなぶさ

南相馬市立金房小学校長 遠藤 俊一

【教育目標】 ◇進んで学ぶ子ども ◇思いやりのある子ども ◇健康な子ども
【重点目標】 ……自分から行動しよう……



小高中学校 “職場体験” 9月8日（火）・9日（水）

9月8日（月）・9日（火）の2日間、金房小学校の卒業生、小高中学校第2学年の佐藤 愛さんが職場体験で来校しました。総合的な学習の時間のキャリア教育の一貫として、勤労の尊さや意義を体験することが主たるねらいであり、自分の将来に対し明確に目標を持ち今後も主体的に学校生活を充実させようとすることを目的としている体験活動です。佐藤さんは、授業中、優しい眼差しで子どもたちを見守ったり、休み時間に一緒に遊んだり、給食を一緒に食べたりと貴重な経験ができたようです。ハキハキとしたあいさつ、明るい返事、さわやかな笑顔。小学生のよいお手本でした。この経験はきっとこれからの中学校生活に生きてくると願っております。



小高工業高校 “出前授業” 9月9日（水）

小高工業高校3年生6名と引率の先生2名が、6学年の総合的な学習の時間に出前授業をしてくださいました。2学期の大きな単元である「身の回りの環境に目を向けよう～クリーンなエネルギーについて考えよう～」の学習が始まったばかりです。地球にやさしい電気をおこすための仕組みや方法を、学生自らが製作した器具を使って、小学生にもわかりやすく説明してくれました。相手が小学生とあって、話し方、話す内容を吟味し、練習を重ねて本番を迎えたとのこと。さすが高校生、頼もしい限りです。6年生も、高校生の話に身を乗り出して聴き入っていました。

この日は、ちょうど小高中学校の2年生3名が「総合的な学習の時間」の一環として職場体験学習に来ており、この時間は、小学生、中学生、高校生が同じ部屋で学習するというとても微笑ましい雰囲気にも包まれていました。

「限られたエネルギーを大事に使ってください。」授業の最後に、高校生からいただいた熱いメッセージです。東日本大震災を経験した6年生、中学生、高校生にとって大変重い、心にしみわたるメッセージでした。



「やさしさの輪を広げよう」

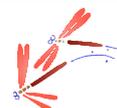
8月28日（金）、南相馬市役所地域福祉課の青木圭太さんをゲストティーチャーにお迎えし、第3学年において総合的な学習の時間の「アイマスクを体けんしよう」の授業が行われました。



目の不自由な方の立場になるということは、どのようなことか身をもって体験できたようです。

普段、何気なく歩いている廊下も、アイマスクをすることによってまるで別世界のように感じたのではないのでしょうか。日常生活の中で、困っている人に、「こんにちは、何かおこまりですか？お手伝いします。」という温かい言葉かけが、いつかきっと子どもたちから自然にできることを願っております。

たくさんのかかわりを大切に！



子どもたちは、日々の学習の中で、たくさんの方々とのかかわりを持ち学習をしています。直接体験したり見たり聞いたりして、多くの方々とかかわることによって、新鮮な刺激を受け、学習の質が高まり、そして深まることを願っています。



一人ひとりの笑顔が輝く金房小学校

